

ラッパのさばき

2026年5月3日

ヨハネの黙示録 8章1～13節

序：大患難期7年の前半の前半：封印のさばき 第1～6まで6章

第7 ⇒ ラッパのさばき 8章～9章

1. ラッパのさばき (7のうち 第1～4まで) 8・1～13

(1)第7の封印/天には半時の静けさ 1～6節

ラッパのさばきへの序曲

①7人の御使いが7つのラッパを手にして待機

②別の御使い

金の香炉を持ち、祭壇のそばに立つ

多くの香が与えられる 香=祈り

聖徒たちの祈りが伴つ

香の煙が神の御前に立ち上る

香炉に祭壇の火を満たして、地に投下 (ラッパのさばきの台函)

6・9～11の患難期の殉教者たちの輿願への答え

(2)ラッパのさばき

①第1のラッパ 7節

赤い雹と火

地上の1/3が焼失 (木や草も)

②第2のラッパ 8～9節

燃える大山のようなもの 海の1/3が死ぬ (海の生物、船の1/3も)

③第3のラッパ 10～11節

燃える巨星が落下

川と水源 (真水) の1/3が汚染、飲料水を失つ

苦よもぎ

④第4のラッパ 12節

天体 (太陽、月、星) 昼夜の地上に降り注ぐ光量の1/3が失われ暗くなる

⑤残る三つの災いの予告 13節

中天を飛ぶ一羽の鷹が告げる

さらに厳しいいわざわいがもたらさせる (第5～7のラッパ)

II. 祈りは聞かれる（神の応答）

(1)殉教者（神のことばと王イエスの証しのゆえに殺された者）たちの嘆願

6・10 不正・不当・残虐な加害者に復讐・さばきを行ってください
ローマ 12・19 復讐するな 復讐は神がなさる

(2)別の御使いはイエス・キリストのよう

人と神の間の仲介者

聖徒の祈りをとりなしておられる ローマ 8・34、ヘブル4・16

たくさんのお祈り = 主イエスの功績の甚大さ、多くの完全な祈り

聖徒たちの祈りとともに、神にささげられている

積まれた祈りが臨界に達すると、神は御業（ここではさばき）をなさる

応えられたしるし：ここでは雷鳴、稲妻、地震

(3)聖徒の祈りはイエスの御名によってささげられる

「アバ、父」と呼ぶ御子の御霊のとりなしに助けられて祈られる

(4)私たちの祈りは、イエスの御名なくして神に届かない、にもかかわらず、すべての聖徒たちの祈りに添えて、聖徒たちの祈りとともに、主の祈りが捧げられる

(5)祈って即座に聞かれるとは限らない

祈った人の思い通りに応えられるとは限らない

しかし、神の答えはタイミングも内容も絶妙、最善

神に信頼して、諦めず、たゆまず祈るなら、何らかの答えは与えられる

遅すぎもせず、早すぎもせず

(6)キリストの御名によって祈れること、内住の聖霊に助けられて祈れることは

キリスト信者の幸い、特権、祝福である

祈りの力を体験するには祈る以外にない